

# ELEC-HISHIKI

 **エレクトリックヒシキ株式会社**

## エコアクション21 環境活動レポート 2024 年度

対象期間 2024年 4月～2025年 3月  
発行日 2025年 5月 2日

エレクトリックヒシキ 株式会社

## 目 次

ごあいさつ	2
1. 組織の概要	2
2. 対象範囲	2
3. 環境への取組	3
3. 1 環境経営方針	3
3. 2 実施体制	3
3. 3 役割・責任・権限	4
4. 環境目標及び環境活動計画	5
4. 1 中期環境目標及び各年度の環境目標	5
4. 2 2023年度からの環境活動計画	6
5. 環境目標の実績と取組結果	7
5. 1 2024年度の環境目標の実績	7
5. 2 環境活動の取組み及び結果の評価	8
6. 環境法規等要求事項と順守状況	11
6. 1 法令・条例一覧と関連有無の判断	
6. 2 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	12
7. 1 環境方針・目標達成状況	
7. 2 環境活動計画実施状況	
7. 3 環境関連法規制等の順守状況	
7. 4 環境方針を含めた環境システムの各要素変更の必要性	
お問い合わせ・地図	13

## ごあいさつ

当社は昭和5年(1930年)に創業、90年の歴史を誇る総合電機商社です。21世紀を迎え、時代も環境も大きく変化して参りましたが、お客様各位のニーズに充分お応えすべく、さらに創意と工夫を発揮して未来型ビジネスに挑戦していくという私たちの使命に変わりはありません。

今後もグローバル化、個性化、多様化を視野に入れながら、三菱電機(株)による全面的サポートを得、基幹部品であるFA機器分野の拡充を中心に努めるとともに、技術提案のできる営業力を充実させるべく努力いたしております。今後とも皆様のご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 経営理念

1. 顧客を最優先とする精神の徹底
2. 経営目的を達成し、企業基盤を確立する
3. 創造力と工夫で新しい事業分野に挑戦しよう
4. 技術知識の向上をはかり、より高度な仕事に取り組もう
5. 常に自己啓発に努力し、高い見識と強い意志を持つ

### 社訓

1. 我等皆人間家族
2. 会社と社会と自己に対する責任を果たそう
3. 誠実と協和を旨としよう
4. 人には寛容に己には冷徹であれ
5. 明るい社風を築こう

## 1. 組織の概要

### (1) 事業所名及び代表者氏名

エレクトロニクス株式会社 代表取締役 下出 啓介

### (2) 所在地

本社 〒465-8651 愛知県名古屋市名東区一社四丁目2番地

岡崎営業所 〒444-0860 愛知県岡崎市明大寺本町一丁目3番地

岡崎センタービル8階C号室

### (3) 事業の概要 FAシステム・配電機器・半導体の販売

### (4) 企業の規模

従業員数：57人

事業所延床面積：924.56㎡(本社 829.2㎡、岡崎営業所 95.36㎡)

### (5) 環境管理責任者氏名 犬飼 勇

### (6) 環境担当者及び連絡先 林 洋司

電話 052-702-2021

## 2. 対象範囲(認証・登録範囲)

### (1) 対象事業所 本社、岡崎営業所

### (2) 事業活動 FAシステム・配電機器・半導体の販売

### 3. 環境への取組

#### 3.1 環境経営方針

##### 環境基本理念

エレクトロニクス株式会社は、FAシステム、配電機器、半導体等の販売会社として環境保全に取り組むことが重要課題の一つであることを認識し、環境との調和、お客様を含めた地域社会との連携・融和をはかりながら進歩・発展していくことを目指します。

##### 環境活動方針

私たちは、当社の事業活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめるために、以下の行動に取り組み、継続的改善に努めます。

- ① 環境保全に関する法令などを遵守し、地域社会との調和に努力します。
- ② 事業活動における電気、ガス、自動車燃料の使用量削減を図り、省エネルギー活動を推進し、地球温暖化防止に努めます。
- ③ 紙・ダンボール等の廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
- ④ 自らグリーン製品を使用し、その提案・普及に努めます。
- ⑤ 省エネルギー関連FA機器製品の販売を通じ、お客様の省エネルギー活動の推進に、貢献します。

この方針にそって、全ての従業員が高い環境意識をもち、環境に配慮した行動ができるように、環境教育を実施します。また、地域での環境保全活動に積極的に参加できるように、社内の体制を整備します。

制定日 平成 20 年 9 月 30 日

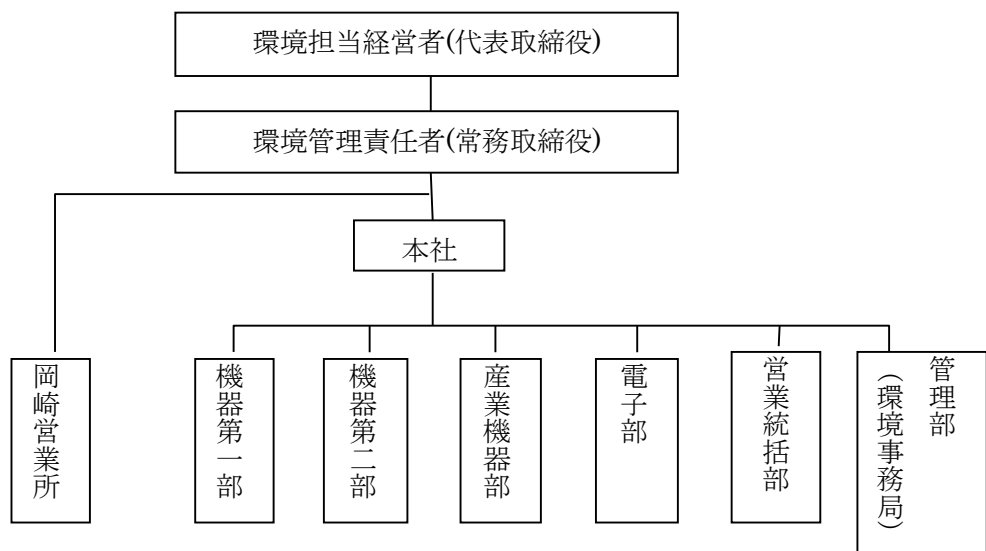
改定日 令和 6 年 4 月 1 日

エレクトロニクス株式会社

代表取締役

下出啓介

#### 3.2 実施体制



### 3.3 役割・責任・権限

<p>環境担当経営者 (代表取締役)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知</li> <li>・環境目標・環境活動計画書の承認</li> <li>・適正な人員配置と予算的措置</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し</li> <li>・環境経営マニュアルの承認</li> <li>・環境活動レポートの承認</li> </ul>
<p>環境管理責任者 (常務取締役)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築・実施・管理</li> <li>・環境目標・環境活動計画書の作成</li> <li>・環境関連法規のとりまとめ</li> <li>・環境関連法規制登録簿および遵守評価の承認</li> <li>・実施体制の作成</li> <li>・環境目標・環境活動計画書の作成</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開（備付と地域事務局への送付）</li> <li>・環境経営マニュアルの作成</li> <li>・環境活動の取組結果の代表者への報告</li> <li>・全従業員を対象とした教育・訓練</li> </ul>
<p>環境事務局 (管理部) (環境責任者)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> <li>・環境関連法規制登録簿の作成</li> <li>・環境関連法規制登録簿に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーション窓口</li> </ul>
<p>部門長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の周知</li> <li>・環境目標・環境活動計画の周知</li> <li>・環境目標・環境活動計画の進捗状況の周知</li> <li>・自部門の問題点の発見、予防処置の実施</li> </ul>
<p>全従業員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加</li> </ul>

## 4. 環境目標及び環境活動計画

### 4.1 中期環境目標及び各年度の環境目標

項 目		単位	2022年度 (基準年度)	2023年度 (目標)	2024年度 (目標)	2025年度 (中期目標)
二酸化炭素排出量		総量 kg-CO <sub>2</sub> (削減率)	42,340	43,971 (-)	43,703 (-)	43,166 (-)
内訳	電気	kWh (削減率)	70,327	68,920 (2%)	68,217 (3%)	66,811 (5%)
	ガス (本社)	m <sup>3</sup> (削減率)	44	44 (維持)	44 (維持)	44 (維持)
	ガソリン	L (削減率)	6,629	7,564 (-)	7,564 (-)	7,564 (-)
水使用量 (本社)		総量(m <sup>3</sup> /年) (削減率)	338	338 (維持)	338 (維持)	338 (維持)
廃棄物	リサイクル率	(a)/(a)+(b)%	59.6	60.0	60.0	60.0
グリーン調達比率		%	77.5	80.0	80.0	80.0
環境負荷低減製品		%	19.7	20.0	20.0	20.0
紙資源の削減		枚 (削減率)	383,966	372,447 (3%)	368,607 (4%)	364,768 (5%)

\*電気購入先は中部電力、換算 CO<sub>2</sub> 排出係数は 0.382kg・CO<sub>2</sub>/kWh (2021年) を適用。

\*電気使用量については、業務量、および新型コロナウイルス感染症が落ち着いてくることを見込み、2022年度の電気使用実績を段階的に5%まで削減していく中期目標とした。

\*ガス、水使用量は基準年使用量を維持。

\*ガソリン使用量

新型コロナウイルスの感染拡大を機に、ウェブ会議による商談が増えたこと等により、2022年度(基準年度)のガソリン使用量は、2019年度と比べて大幅に減少したが、今後は対面での商談が増えてくることを見込み、2021年度の実績を2023年度からの目標値とした。

\*廃棄物については、年度により集中廃棄量に変動があるため、リサイクル率を目標とした。

(a) 資源ごみ、産業廃棄物(再生) (b) 可燃ごみ、産業廃棄物(最終処分)

\*廃棄物・グリーン調達、環境負荷低減製品の目標は、前中期目標値(比率)と同水準とした。

\*紙資源の削減を目的として、複合機からのペーパー出力枚数の削減を新たに追加した。

\*化学物質は使用していません。

2020年度から2022年度にわたるエコアクション21の活動により、CO<sub>2</sub>排出量が2019年度基準年度(2022年度目標)に対して18.8%削減しました。2023年度以降は、基本的にはこれまでの取組みを継続しますが、ガソリン使用量の目標を2021年度実績とするため、2022年度を基準に2025年度までに約2%増の目標とします。

## 4.2 2023年度からの環境活動計画

(1) 省エネルギーに努め、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めます。

電気 空調温度の適温設定、扇風機併用、休憩時間の消灯の徹底  
ガソリン エコドライブの徹底  
ガス 本社での適切な使用の徹底

(2) 水資源(上水道)の使用節水

節水に努め、2022年度の使用量を維持します。

(3) 廃棄物の削減とリサイクルの推進

紙ごみの分別を更に引き続き徹底し、リサイクル率の目標を維持します。

(4) 事務用品のエコ製品採用推進

グリーン購入法適合商品、環境配慮商品（エコマーク製品）を原則として購入し、グリーン調達比率の目標を維持します。

(5) 環境負荷低減製品

省エネルギー関連FA機器製品の販売を通じ、お客様の省エネルギー活動の推進に貢献し、環境負荷低減製品の販売高比率の目標を維持します。

(6) 紙資源の削減（新たな目標）

ペーパーレス化、プリントミスの削減により、複合機からのペーパーの出力を削減します。

(7) 環境保全に関する法令などを順守

環境法規の遵守状況を把握・評価し、違反ゼロを目指します。

## 5. 環境目標の実績と取組結果

### 5.1 2024年度の環境目標の実績

項 目		単 位	2022年度 (基準年度)	2024年度 (目標)	2024年度 (実績)
二酸化炭素排出量		総合 kg-CO <sub>2</sub> (削減率)	42,340	43,703 (-)	48,473 (基準年度比 14.5%増加) <b>(目標比 10.9%未達)</b>
内訳	電気	kWh (削減率)	70,327	68,217 (3%)	76,210 (基準年度比 8.4%増加) <b>(目標比 11.7%未達)</b>
	ガス (本社)	m <sup>3</sup> (削減率)	44	44 (維持)	43 (達成)
	ガソリン	L (削減率)	6,629	7,564 (-)	8,305 (基準年度比 25.3%増加) <b>(目標比 9.8%未達)</b>
水使用量 (本社)		m <sup>3</sup> (削減率)	338	338 (維持)	372 <b>(目標比 10.1%未達)</b>
廃棄物	リサイクル率	(a)/(a)+(b)%	59.6	60.0	61.2 (達成)
グリーン調達比率		%	77.5	80.0	89.5 (達成)
環境負荷低減製品		%	19.7	20.0	22.2 (達成)
紙資源の削減		枚 (削減率)	383,966	368,607 (4%)	292,100 (基準年度比 23.9%削減) (目標比 20.8%削減)

廃棄物: (a) 資源ごみ、産業廃棄物(再生) (b) 可燃ごみ、産業廃棄物(最終処分)

\* 電気購入先は中部電力、換算 CO<sub>2</sub> 排出係数は 0.382kg・CO<sub>2</sub>/kWh (2021年) を使用。

## 5.2 環境活動の取組み及び結果の評価

### (1) 省エネの推進

#### 電気使用関連

- ①電気の昼休み、退出時の部分消灯（照明器具ごとにスイッチ設置済）
- ②空調機器の省エネ機器への代替と効率的運用（フィルター定期清掃、室温に即した適切な温度設定）により節電
- ③扇風機併用などの効率的運用
- ④照明スイッチ部に「節電ラベル」貼り付け
- ⑤照明のLED化
- ⑥パソコンのスリープモード設定(30分)

#### [評価]

電気使用量を、基準年度比で3%削減する目標としましたが、8.4%の増加となり、目標比11.7%の未達となりました。

岡崎営業所の入居するビルが、外壁工事の期間中に足場を組み、太陽光が遮断され室温の低下を招いたことから、冬場のエアコン使用量が急増する一因となりました。



LED蛍光灯の間引き、スイッチ取付



室温設定と消灯掲示

#### 都市ガス使用関連（本社のみ）

ガス給湯器の利用に限定されるため、節約意識を持つ。

#### [評価]

節約意識により、目標達成となりました。

#### ガソリン・軽油の使用関連

- ①エコカー（ハイブリッドカー）の導入
- ②小型車の導入
- ③エコドライブの徹底（カラぶかし厳禁、急発進・急加速を控える）

#### [評価]

本社、岡崎営業所ともに、外訪活動が、新型コロナウイルス感染期間中の2021年度（目標値）を上回ったことから、全体では目標比9.8%の未達となりました。



アイドリングストップの啓蒙

(2) 水資源(上水)の使用節水 (本社のみ)

- ①洗面所・トイレにセンサー設置を採用し節水に心がける
- ②水道流し放しの抑制

[評価]

目標比10.1%の未達となりましたが、10月に実施した漏水対策により、以降は使用量の増加が抑えられています。



節水の掲示

(3) 廃棄物の削減とリサイクルの推進

- ①分別場所の指定 (ラベル表示) による分別の徹底
- ②ダンボールは再利用を心がける
- ③書類等のシュレッダー処理の対象書類を明確化
- ④再生原料紙 (新聞紙等) の分別徹底
- ⑤社内会議用には書類をできるだけ無くし、メールなどのイントラネット有効活用

[評価]

上記の取組を推進し、目標達成となりました。



(4) グリーン購入への取組み

- ①事務用品中心にエコ商品のカタログを収集・整備
- ②各種紙、文房具、OA機器の新規購入には、エコマーク製品を原則として採用



[評価]

エコマーク製品購入の徹底により、目標達成となりました。

(5) 環境負荷低減製品の販売促進

- ①メーカー開発エコ商品の情報を収集し、顧客へ提供できるようカタログを整備、拡販に務める。
- ②R o H S等の環境調査依頼に適切に対応する。

[評価]

エコ商品の提案に努め、目標達成となりました。



省エネ製品の販売促進用パンフレット

(6) 紙資源の削減への取組み

複合機からのペーパー出力枚数の削減

- ①ペーパーレス化の推進
- ②プリントミスの削減

[評価]

会議資料のペーパーレス化、プリントミスの削減努力により、目標を大幅に上回る達成となりました。

## 6. 環境法規等要求事項と順守状況

### 6.1 法令・条例一覧と関連有無の判断

法律・条令・その他の要求事項		関連あり→○	
		本社	岡崎営業所
廃棄物の処理および清掃に関する法律		○ (適正処理・マニフェスト管理他)	
家電リサイクル法		○ (テレビ・冷蔵庫)	
フロン排出抑制法		○ (空調機)	
RoHS指令		○	
愛知県 条例	県民の生活環境の保全等に関する条例 (廃棄物の適正処理) (低公害車の購入等) 廃棄物の適正な処理の促進に関する条例	○	
名古屋市 条例	産業廃棄物の適正な処理及び資源化の促進に関する条例 廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 空き缶等の散乱の防止に関する条例 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例	○	
岡崎市 条例	廃棄物の適正な処理の促進に関する条例 (愛知県) 廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		○
取引先のグリーン調達ガイドライン		○	

### 6.2 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境管理連法規への順守状況について、確認・評価したところ、すべて適合しており、また、環境に関する違反、苦情、訴訟等の指摘もありませんでした。

## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 7.1 環境方針・目標達成状況

2024年度は、電気使用量が目標比で11.7%未達、ガソリン使用量も目標比で9.8%未達となり、総合CO<sub>2</sub>の排出量は、目標比で10.9%の未達となりました。また、水使用量も、10.1%の目標未達となりました。

### 7.2 環境活動計画実施状況

計画通り活動ができました。

活動開始から15年以上が経過し、7回の更新審査を受けました。

その間の活動により、社員全員への意識定着も進み、活動計画が確実に実施されるようになりました。

### 7.3 環境関連法規制等の順守状況

定期評価を実施した結果、確実に順守されています。

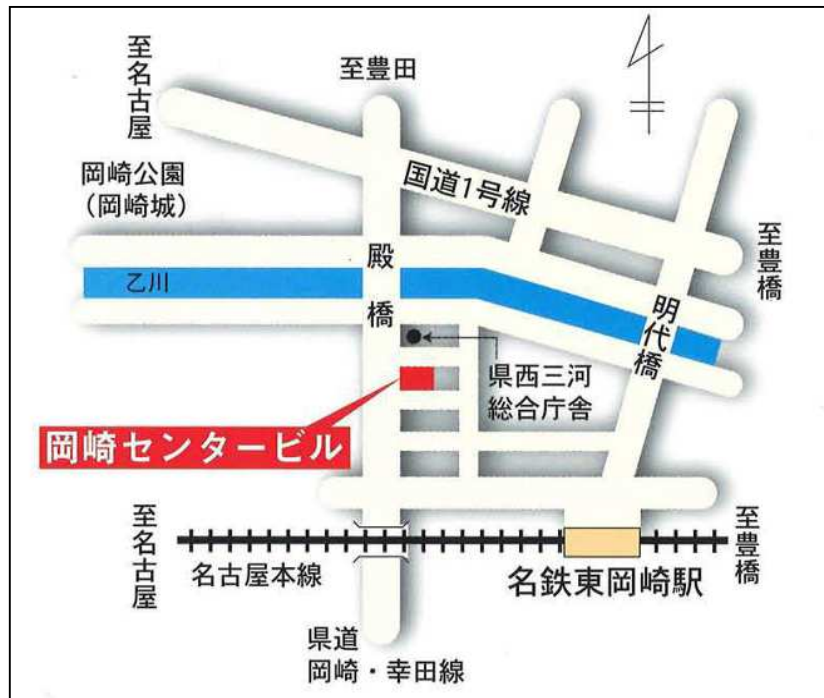
### 7.4 環境方針を含めた環境システムの各要素変更の必要性

2025年度の環境目標については、以下の通りとします。

- ・ガソリン使用量の削減については、新型コロナウイルス感染が終息し対面での商談が増えてくることを想定し、2023年度からの目標値を2022年度(基準年度)の実績ではなく、2021年度の実績としましたが、2024年度はその目標値を上回る実績となりました。  
この結果が一時的なものなのかを見極めるため、中期環境目標の最終年度となる2025年度の目標は変えないこととします。
- ・紙資源の削減については、2024年度の実績が目標を大幅に上回りましたが、2025年の目標は変えないこととします。
- ・その他の目標も変えないこととします。

環境経営マニュアルについては、必要に応じて見直しを進め、改訂していきます。

お問い合わせ・地図



エレクトロニクス株式会社

本社 〒465-8651 名古屋市名東区一社四丁目2番地  
☎ 052-702-2021 (代) FAX 052-704-3131

岡崎営業所 〒444-0860 岡崎市明大寺本町一丁目3番地  
岡崎センタービル8階C号室

☎ 0564-21-6792 (代) FAX 0564-21-6838

環境管理責任者 犬飼 勇 E-mail [inukai@hishiki.co.jp](mailto:inukai@hishiki.co.jp)

環境管理者 林 洋司 E-mail [hayashi@hishiki.co.jp](mailto:hayashi@hishiki.co.jp)